

SICE温度計測部会
第135回温度計測部会見学会
「モノづくりのまち東京都大田区まち工場」

日時：2013年 3月1日（金）13:30～16:15

見学先：株式会社上島熱処理工業所様、北野精機株式会社様

温度計測部会では、第135回の部会行事として、「温度計測部会 見学会 モノづくりのまち東京都大田区まち工場」を開催致しました。今回の見学会では、時代が求める製品のニーズにあった技術やこれらを可能にするコミュニティを有する東京都大田区まち工場群に焦点をあて、温度計測及びその関連技術に関する業務・機器の説明を受けました。

今回お伺いしたのは、金属熱処理・表面加工を行っている株式会社上島熱処理工業所様と真空機器製造を行っている北野精機株式会社様です。2社とも参加者の研究や業務に直結する非常に興味深い見学となりました。

この見学会は、大田区の企業に対して様々な制度で支援活動を行っている公益財団法人 大田区産業振興協会様(東京都大田区南蒲田一丁目20番20号 大田区産業プラザ)に協力いただきました。

今回の参加者は23名と年度末の多用の時期にもかかわらず、多数の参加があり、見学及び説明の場では、活発な質疑応答が取り交わされました。

【プログラム】

本見学会には、公益財団法人 大田区産業振興協会のご担当者様にも御同行頂き、本会の進行を行っていただきました。見学内容の概要は以下のとおりです。

(1) 株式会社上島熱処理工業所様(説明者：坂田部長、他)

創業以来、ロコミのみで顧客を確保できるほどレベルの高い熱処理技術を有する会社です。熱処理としては、ソルトバス(BaCl₂)に直接通電加熱することで1000℃超の熱処理を行っており、見学の最中に実際の焼入れ作業を見ることができました。大きな材料を一様に熱処理するためには、ソルトバスの温度管理が重要であるとのことでしたが、対流と炉の大きな熱容量により温度揺らぎの小さい管理が可能ということでした。このほか、TiNコーティングによる表面改質、航空機部品に対する熱処理等の現場も見学させていただきました。また永年就職制度など会社独自の仕組みを確立しているとともに、厚生労働省が主催する「現代の名工」や東京都が主催する「東京マイスター」の受賞者を多数輩出されているのを伺いし、人材を大切に経営されているのも特徴の一つと感じました。

(2) 北野精機株式会社様(説明者：北野社長、他)

もともとは液体窒素のための容器を製作していた企業であり、容器材料の接合に用いられる高い溶接技術を生かして、真空機器開発を行っているとのことでした。この企業のモットーとして「研究者と、生きる。」がかかげられており、この技術を生かした新分野への参入に関しても積極的に挑戦されているという印象を持ちました。具体的な業務としては、真空容器を用いたエッチャー等の表面改質装置等の製作を行っているとのことでした。取引業者としては、全国の研究機関なども含まれており、かなり特別な仕様の装置に関しても対応が可能であるとのことでした。装置研究・開発を行っていく上で良きパ

ートナーになっていただけそうな印象を持ちました。

このように見学会は盛況かつ好評を得る事ができました。株式会社上島熱処理工業所様、北野精機株式会社様、公益財団法人大田区産業振興協会様におかれましては、多大なご協力をいただきましたこと御礼申し上げます。



主催：計測自動制御学会 計測部門 **企画：**温度計測部会

協賛：応用物理学会，システム制御情報学会，精密工学会，電気学会，電子情報通信学会，日本機械学会，日本航空宇宙学会，日本鉄鋼協会，日本電気計測器工業会，日本リモートセンシング学会